

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公開番号】特開2008-119133(P2008-119133A)
 【公開日】平成20年5月29日(2008.5.29)
 【年通号数】公開・登録公報2008-021
 【出願番号】特願2006-304318(P2006-304318)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 1 B

A 6 3 F 7/02 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月25日(2009.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が打ち込まれる遊技領域が形成された遊技盤と、前記遊技領域内に配置される始動口と、前記遊技領域内のほぼ中央に配置された中央役物と、遊技の進行に関する各種情報を遊技情報として記憶するRAMが実装され、且つ遊技の進行に応じて作成した各種コマンドをコマンド送信制御手段で送信する主制御基板と、前記コマンド送信制御手段が送信した各種コマンドをコマンド受信制御手段で受信して演出に関する各種制御を行う副制御基板と、前記RAMに記憶されている内容をすべて消去する起因となるRAMクリアスイッチと、を備える遊技機であって、

前記中央役物は、少なくとも、

大入賞口が設けられた大入賞口開閉装置と、

前記大入賞口に入球した遊技球が流通可能とされ、且つ、前記遊技領域と分離区画された視認可能な遊技球演出空間と、

前記大入賞口に入球した遊技球を貯留し、且つ、該貯留した遊技球を複数の振分口のうちのいずれか1つの振分口に振り分けて前記遊技球演出空間に誘導する振分駆動装置と、

を備え、

前記大入賞口開閉装置は、少なくとも、

開閉部材を開閉動作させて前記大入賞口に遊技球が入球可能な開放状態又は入球困難な閉鎖状態にする大入賞口開閉ソレノイドと、

前記大入賞口に入球した遊技球が入球したことを検出するカウントセンサと、

を備え、

前記振分駆動装置は、少なくとも、

前記カウントセンサで検出された遊技球を貯留する貯留通路と、

該貯留通路で貯留されなかった遊技球を前記遊技領域内に戻すことなく外部に排出する排出通路と、

前記貯留通路に貯留された遊技球を前記複数の振分口のうちのいずれか1つの振分口に振り分けるために、回転方向の切り替えを制御して前記遊技球演出空間に誘導する振分モータと、

を備え、

前記主制御基板は、さらに、

前記RAMクリアスイッチが操作されているか否かを判定するRAMクリアスイッチ操作判定制御手段と、

前記RAMに記憶されている内容をすべて消去するRAMクリア制御手段と、

前記始動口に遊技球が入球したことに基づいて遊技者に利益を付与する利益付与状態に遊技の進行を移すか否かを判定する利益付与判定制御手段と、

該利益付与判定制御手段による判定結果が前記利益付与状態に遊技の進行を移すと判定された際に、前記大入賞口開閉ソレノイドを駆動制御して開閉部材を開動作させて前記大入賞口を閉鎖状態から開放状態にする利益付与状態制御手段と、

を備え、

当該主制御基板は、少なくとも、前記RAMクリアスイッチ操作判定制御手段により前記RAMクリアスイッチが操作されていると判定された際に、前記RAMクリア制御手段で前記RAMに記憶されている内容をすべて消去した後、当該RAMに記憶されている内容をすべて消去した旨を伝えるRAMクリア報知コマンドを作成して前記コマンド送信制御手段で前記副制御基板に送信する一方、前記利益付与判定制御手段による判定結果が前記利益付与状態に遊技の進行を移すと判定されたときには当該利益付与状態の開始又は終了の旨を伝えるコマンドを作成して前記コマンド送信制御手段で前記副制御基板に送信し、

前記副制御基板は、さらに、

前記コマンド受信制御手段で受信したコマンドに基づいて前記振分モータを駆動制御して前記貯留通路に貯留された遊技球を複数の振分口のうちのいずれか1つの振分口に振り分けて前記遊技球演出空間に誘導する貯留球振分制御手段

を備え、

当該副制御基板は、前記コマンド受信制御手段で受信したコマンドが前記RAMクリア報知コマンドであるときには前記貯留球振分制御手段で前記振分モータを駆動制御して当該貯留通路に貯留された遊技球を複数の振分口のうちのいずれか1つの振分口に振り分けて前記遊技球演出空間に誘導することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機であって、

当該遊技機の各種電圧を作成する電源基板を備え、

前記主制御基板は、さらに、

前記電源基板から供給される電圧の低下を監視し、当該電圧が予め定めた電圧に低下すると、前記RAMに記憶されている前記遊技情報を数値とみなしてその合計を算出して当該RAMに記憶するサム値算出記憶制御手段と、

起動時に、前記RAMに記憶されている遊技情報を数値とみなしてその合計を算出し、その算出した値と、前記サム値算出記憶制御手段により算出記憶された値と、が一致しているか否かの判定を行うサム値判定制御手段と、

を備え、

当該主制御基板は、前記サム値判定制御手段により、起動時に、前記RAMに記憶されている遊技情報を数値とみなしてその合計を算出した値と、前記サム値算出記憶制御手段により算出記憶された値と、が一致していないと判定されたときには前記RAMに記憶されている前記遊技情報及び前記サム値算出記憶制御手段により算出記憶された値を前記RAMクリア制御手段で消去し、その旨を伝える前記RAMクリア報知コマンドを作成して前記コマンド送信制御手段で前記副制御基板に送信することを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の遊技機であって、

当該遊技機は、装飾ランプを複数備え、

前記副制御基板は、さらに、

前記装飾ランプを点灯制御する装飾ランプ点灯制御手段

を備え、

当該副制御基板は、前記コマンド受信制御手段で受信したコマンドが前記RAMクリア報知コマンドであるときには、前記RAMに記憶されている前記遊技情報及び前記サム値算出記憶制御手段により算出記憶された値を消去した旨を報知するために前記装飾ランプ点灯制御手段で予め定めた時間だけ前記装飾ランプを点灯制御し、且つ、前記貯留球振分制御手段で前記予め定めた時間以内に前記振分モータを駆動制御して当該貯留通路に貯留された遊技球を複数の振分口のうちのいずれか1つの振分口に振り分けて前記遊技球演出空間に誘導することを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項3に記載の遊技機であって、

前記振分駆動装置は、

前記貯留通路に遊技球が侵入したことを検出する侵入検出センサ

を備え、

前記副制御基板は、前記コマンド受信制御手段で受信したコマンドが前記RAMクリア報知コマンドであるときには、前記RAMに記憶されている前記遊技情報及び前記サム値算出記憶制御手段により算出記憶された値を消去した旨を報知するために前記装飾ランプ点灯制御手段で前記予め定めた時間だけ前記装飾ランプを点灯制御し、且つ、前記侵入検出センサからの検出信号の有無にかかわらず、前記貯留球振分制御手段で当該予め定めた時間以内に、前記振分モータを駆動制御して当該貯留通路に貯留された遊技球を複数の振分口のうちのいずれか1つの振分口に振り分けて前記遊技球演出空間に誘導することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

本発明の請求項1においては、大入賞口内に貯留された遊技球を、手間をかけずに取り除くことができる。請求項2においては、遊技者は、ホールの店員を呼んでガラス扉（前面枠）を本体枠から開放してもらって振分駆動装置に貯留された遊技球を取り除いてもらう手間がなくなるため、遊技機の起動後、すみやかに遊技を開始することができる。請求項3においては、装飾ランプが点灯終了する前に、貯留通路に貯留された遊技球が遊技球演出空間に誘導されるため、装飾ランプの点灯終了後、遊技者が遊技を開始しても、遊技開始直後に演出と関係ない遊技球が振分口から遊技球演出空間に誘導されず、遊技者に違和感を与えない。請求項4においては、貯留通路に遊技球が貯留されている状態であるか否かにかかわらず、振分モータを駆動制御するため、貯留通路に貯留された遊技球を、複数の振分口のうちのいずれか1つの振分口に確実に振り分けることができ、遊技球演出空間に誘導することができる。